

授業科目名： 保育内容（造形表現）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 櫻永 卓三 担当形態： 単独
実務内容 （実務家教員の場合）	小学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、保育内容（造形表現）における指導計画の作成、保育指導案の作成について指導する。		
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する（幼稚園）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	領域に関する専門的事項（表現）		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 幼稚園教育における領域「表現：造形表現」のねらいと内容について理解するとともに、造形表現活動の発達段階や個々の特性を考慮した援助の在り方について考究していく。また、身近な素材から新たな教材へと発展させることを目指した遊び活動の教材開発や主体的な造形表現活動を引き出すための援助・指導についても学修を深めるようにする。			
授業の概要 ①幼稚園教育要領における領域「表現：造形表現」のねらいと内容を理解する。 ②表現活動の発達段階について理解する。 ③保育者の援助の基本や具体的な方法について理解する。			
授業計画 第1回：幼児教育の基本 第2回：幼児教育における「遊び」と「学び」の関係性 第3回：領域「表現」のねらいと内容 第4回：幼児教育における「造形表現」の役割とその機能 第5回：造形表現活動の発達段階とその特性 第6回：子どもの感性と学びの育み 第7回：子どもの表現意欲を高める指導 第8回：表現活動における発達特性と個人差 第9回：ここに適応した「援助」 第10回：創造性を高める指導 第11回：個々の特性を生かした指導 第12回：遊び活動を通じた総合的な学び 第13回：造形表現活動を促す環境づくり 第14回：「表現」と「鑑賞」の一体化 第15回：「表現活動」と「援助」の関係性 定期試験			
スクーリングでの学修			
テキスト ①文部科学省「幼稚園教育要領 平成29年3月告示」フレーベル館 978-4577814222 ②文部科学省「幼稚園教育要領解説 平成30年3月」フレーベル館 978-4577814475			
参考書・参考資料等 特になし			
学生に対する評価 レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			